

▶▶ 1. 特性要因図とは

三人寄れば文殊の知恵

特性要因図は、なるべく1人で作成するのではなく、**関係職場全員が参加**して作成することが非常に大切！



“ブレインストーミング”
により、皆の知恵を自由に
出し合いながら進めると効果的！



ブレインストーミングによる特性要因図の期待効果

- ✓ 問題に対して、職場の皆の**意識レベル**が統一できる。
- ✓ 1人で考えるよりも、問題に対する原因を**深く追求**できる。
- ✓ 相互の**意見に連鎖的に反応**し、問題に対する**視野が広がる**。
- ✓ メンバーの**問題発見能力**や**創造性**が育ち、職場の**一体感**が醸成される。

▶▶ 2. ブレンストーミングの5原則

- 1 質より量

発言は多ければ多いほど良い！
量の中から、必ず質の良いものが生まれると考える！
- 2 自由奔放

テーマに関係していれば何でもOK！奔放な発想は大歓迎！
突拍子もない意見から大きな可能性が生まれると考える！
- 3 批判厳禁

アイデアの量が減ってしまうため、どんな意見が出てきても、
絶対に批判はしない！
- 4 便乗歓迎

他人の意見に便乗してOK！出てきたアイデアを結合し、改善して、
さらに発展させる！
- 5 全員発言

参加者全員が発言できるように議論を進める！ファシリテーターの
腕の見せ所！